



関係者ヒアリング及び 町民意見交換会結果 資料

令和3年3月19日

1. 関係者ヒアリングの概要	2
・ 関係者ヒアリング結果要旨（交通事業者・町内中学校）	3
・ " （庁内関係部局）	4
2. 意見交換会の概要	5
・ 意見交換会結果要旨（濁川地区）	6
・ " （駒ヶ岳・赤井川地区）	7
・ " （石谷・石倉地区）	8
・ " （砂原地区）	9
・ " （本町地区）	10
・ 意見交換会に来られなかった方からの意見要旨	11

関係者ヒアリングの概要

(1) 関係者ヒアリングの目的

森町における効率的で利便性の高い公共交通網を構築するにあたり、各種関係団体の地域公共交通への考え方を把握し、今後、検討を進める公共交通網への連携可能性について検討するための基礎資料の収集を行うため、ヒアリング調査を実施。

(2) 関係者ヒアリングの対象・ヒアリング項目

分類	対象	ヒアリング項目
交通事業者	森ハイヤー	■地域公共交通としての担い手に関する考え方 ・ 運転手及び車両の保有状況 ・ 今後の事業展開（拡大していくのか、縮小していくのか） ・ 今後の新規事業の担い手の可能性
	函館バス(株)	
庁内関係部局	教育部局	■各部局で担当している交通の運行状況の確認 ・ スクールバスや福祉有償運送、公衆浴場対策バスの利用状況の確認 ■各種交通と地域公共交通の連携可能性に関する考え方 ・ スクールバスへの一般混乗化や福祉有償運送、公衆浴場対策バスと地域公共交通の連携可能性
	福祉部局	
	住民生活課	
町内中学校	森中学校	■部活動をしている生徒やその保護者から移動や交通手段に関する意見・要望 ■スクールバス運用の基準について
	砂原中学校	

■交通事業者

【森ハイヤー】

- ・都市間バスのバス停までの移動で利用されることが多くなってきている。
- ・車両の保有状況は、小型車両が7台、ジャンボタクシーが1台であり、運転手5名で対応している。

【函館バス】

- ・町内路線については、どのようにすれば利用しやすいか等、役場や町内会と相談させていただきながら対応を検討したい。
- ・企業努力だけではバス路線の維持に限界があるため、存続に向けては地域の皆さんに協力していただける体制等を検討していきたい。

■町内中学校

【森中学校】

- ・現状、生徒や保護者からの意見・要望は受けていないと認識している。
- ・運用基準に基づいて、スクールバスが運行されていることは有り難い。
- ・一方で、石倉方面の生徒が土日祝日に部活動に参加する際にはJRを利用している実態があるが、運賃は後日精算されており、金銭的な負担はないものの、保護者による送迎や生徒本人の移動の負担があると認識している。

【砂原中学校】

- ・現状、生徒や保護者からの意見・要望は受けていないと認識している。
- ・練習場所や大会での移動において、公共交通を利用している生徒は、それほどいないと認識している。
- ・スクールバスの運用は有り難い。
- ・地域公共交通を利用している生徒の利便性がさらに向上するのは良いと思う。

■庁内関係部局

【教育部局】

- ・スクールバスの運行に現状6,000万円を要していることに加え、タクシーによる通学支援も行っており、500万円程度の経費となっている。
- ・スクールバスは大型・中型・マイクロバスが全10台で対応しているが、高齢化等により、運転手不足となってきている。
- ・運行は日興ハイヤーへの委託で実施している。

【福祉部局】

- ・福祉タクシーの申請者は約900件となっており、とりわけ駒ヶ岳・赤井川地区や濁川地区からの申請が多い。
- ・福祉有償運送については、利用者の負担軽減のため、町で利用者負担額の一部を助成している。
- ・福祉有償運送の実施団体は、医療法人名山会と社会福祉法人青雲の森の2団体である。

【住民生活課】

- ・自宅にお風呂がない方を対象に、ちゃっぷ林館への無料送迎を週6日、1日1往復で実施している。
- ・運行は日興ハイヤーに委託しており、年間約270万円の委託料となっている。
- ・運行車両は、町が所有する中型バス1台で対応している。
- ・利用者は年間約4,000人であり、1日に4～20人利用がある。

(1) 意見交換会の目的

町内の公共交通の現況や事前実施した町民アンケート調査の結果を報告し、町内公共交通の問題点や課題について認識の共有を図るとともに、アンケート調査では把握しきれない利用実態やニーズを把握し、今後の計画策定における方向性の検討の基礎資料とすることを目的とした。

(2) 意見交換会の対象

町内5地区に居住する町民

(3) 意見交換会の実施状況

対象地区	開催日
濁川地区	令和3年1月14日(木)
駒ヶ岳・赤井川地区	〃 1月15日(金)
石谷・石倉地区	〃 2月15日(月)
砂原地区	〃 2月16日(火)
本町地区	〃 2月16日(火)

(4) 意見交換会で把握した内容

- ・ 買い物や通院などの日頃の生活移動について
- ・ 日頃の公共交通の利用状況について
- ・ 居住している地区に望ましい公共交通のあり方について

■開催日時・場所

- ・ 令和3年1月14日（木）
- ・ 濁川活性化センター（参加者：20名）

■買い物や通院などの日頃の生活移動について

- ・ 本町市街地に向かうバスは、朝の運行時間が早く、市街地で降車してもお店等が開いておらず、バスを利用した移動は難しい。

■日頃の公共交通の利用状況について

- ・ 道道を中心としたバス路線のため、普段から利用するのは難しい。
- ・ 本町市街地にバスで行くと、夕方まで帰って来られない。

■濁川地区に望ましい公共交通のあり方について

- ・ 地域のニーズにあった交通システムを検討してほしい。
- ・ 運賃が安い方が利用しやすい。
- ・ 子どもたちは少ないが、通学利用ができるような交通システムが望ましい。
- ・ 地域内を運行するコミュニティバスがあると良い。
- ・ 待っている時間が少なくて済む交通が良い。
- ・ 生活に困らないような公共交通の整備が必要。
- ・ 地域との話し合いの機会は増やしてほしい。



■開催日時・場所

- ・令和3年1月15日（金）
- ・駒ヶ岳特別母と子の家（参加者：6名）

■買い物や通院などの日頃の生活移動について

- ・赤井川駅から「からまつの森」まで荷物を引きずるように歩いている人がいる。
- ・移住してきたが、買い物先や通院先が遠いため、将来、運転ができなくなった時が不安。
- ・トドックを利用しているが、直接買い物に行くための足がない。



■日頃の公共交通の利用状況について

- ・路線バスが運行していても、バス停まで行くのが大変。
- ・タクシーは、自宅まで来てくれるので有り難いが、本町市街地まで3,500円かかる。

■駒ヶ岳・赤井川地区に望ましい公共交通のあり方について

- ・安く利用できる交通が望ましい。
- ・運行曜日を限定して、自宅まで迎えに来るような交通が望ましい。

意見交換会結果要旨（石谷・石倉地区）

■開催日時・場所

- ・令和3年2月15日（月）
- ・姥谷生活館（参加者：8名）

■買い物や通院などの日頃の生活移動について

- ・地区内の何軒かは車を持っておらず、買い物や通院はバスを利用している。
- ・一方で、配達で済ませている人もいる。

■日頃の公共交通の利用状況について

- ・ほとんど利用することはない。
- ・タクシーは、たまに利用することがある。
- ・バスを利用している人は、10時台に本町市街地に行き、12時くらいに帰ってくる人が多い。

■石谷・石倉地区に望ましい公共交通のあり方について

- ・運転を止めたあとには、自宅まで予約制で迎えに来る交通が望ましい。
- ・タクシー運賃を助成する取組も有効である。
- ・介護タクシーとの連携ができないか。



意見交換会結果要旨（砂原地区）

■開催日時・場所

- ・ 令和3年2月16日（火） 10:00～11:30
- ・ 森町砂原公民館大ホール（参加者：3名）

■買い物や通院などの日頃の生活移動について

- ・ 新都市砂原病院やスーパーとうかいに行くことが多いが、車による移動がほとんどである。
- ・ 本町市街地までタクシーで行く人もいるが、3,000円くらいかかる。
- ・ 鹿部町に行くことは、ほとんどない。

■日頃の公共交通の利用状況について

- ・ ほとんど利用することはないが、民家の近くにバス停があるため、砂原地区は意外と充実しているように感じた。

■砂原地区に望ましい公共交通のあり方について

- ・ JRとバスの乗り継ぎが円滑になると良い。
- ・ 居住場所の移り変わりがあるため、バス路線の見直しが望ましい。
- ・ 免許返納が進むような取組が実施されると良い。
- ・ 高齢者福祉計画等との連携も必要。



意見交換会結果要旨（本町地区）

■開催日時・場所

- ・ 令和3年2月16日（火）14：00～15：30
- ・ 森町公民館2階講堂（参加者：2名）

■買い物や通院などの日頃の生活移動について

- ・ JRの利用状況で通学目的が多く、維持していく必要があると感じる。
- ・ 買い物や通院は函館に行くことが多い。



■日頃の公共交通の利用状況について

- ・ タクシーは週1回の利用でも負担が大きいと感じる。

■本町地区に望ましい公共交通のあり方について

- ・ 外出を我慢しないで済むような、免許返納後の生活の足の確保が必要
- ・ コミュニティバスのように、区内をきめ細やかに運行する交通が有効と思う。
- ・ 本町市街地内を巡回するような交通が望ましい。
- ・ ちゃっぷ林館やグリーンピア大沼の送迎バスと連携できると良い。

お住まいの地区	意見内容
濁川地区	<ul style="list-style-type: none"> ・濁川線の減便によって通院、買い物に本当に困っている。 ・濁川地区に暮らす町民の移動についてあり方を見直してほしい。 ・町が開催するイベント等に参加したくても移動手段がなければ、参加できない状況にある
駒ヶ岳・赤井川地区	<ul style="list-style-type: none"> ・病院やお店に出かける手段を充実してほしい。 ・この地域で新たな交通として求められているのはデマンド型だと思う。 ・難しければバス停設置でもやむをえないと思う。
駒ヶ岳・赤井川地区	<ul style="list-style-type: none"> ・大沼駅まで出れば便数は倍になるので、赤井川駅で乗らずに車で大沼駅まで移動する方は多いのではないかと思う。 ・北海道縦貫自動車道～函館新外環状道路を利用した際の函館空港へのアクセス、新函館北斗駅などの広域的な移動についても整理が必要。